

ビジョン修正箇所一覧

資料2

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
イラストパース	5~6頁	立適との整合を図るため、居住誘導区域でみられるような日常的なアクティビティはパースから除外する。	10/8 浅野先生 経過報告	以下のアクティビティを削除いたしました。 ・子どもたちに読み聞かせ ・親子で読書
目次・ビジョンの構成	10頁	NS修正		ビジョンの構成を見直しました。旧②(魅力と課題、ヒアリングやWS結果)を、②(魅力と課題)および③(ヒアリングやWS結果まとめ)に分割しました。これに伴い、目次や各ページのタイトルも修正しています。 (旧) …5つの要素で構成しています。 ②まちの今と、見えてきた未来 ・エリアの魅力と課題 ・エリアの将来についてのたくさんの声 (新) …6つの要素で構成しています。 ②鳥羽の”いま”を知る ・エリアの魅力 ・エリアの課題 ③将来についてのたくさんの声 ・ヒアリング調査から得た声 ・若者が考える鳥羽の未来 ・将来のエリアでの過ごし方
魅力と課題	13頁	課題から目標を導くことが重要である。課題をより具体的に整理した方が良い。見開き1枚の分量に増やすべき。	10/8 浅野先生 経過報告	魅力と課題をそれぞれA3見開きページに変更しました。また、課題については5つの目標につながるように内容を整理しなおしました。
空間構造	23~24頁	この1枚でビジョンが分かるように、目標や優先度の高い取組みについても落とし込んだ方が良い。	10/8 浅野先生 経過報告	事務局で整理した優先度の高い取り組み内容のうち、空間構造(ハード整備)に関する内容を抜粋して吹き出しで記載しました。加えて、取り組み内容と関連する5つの目標についても追加で記載しました。

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
	24頁	森の伊勢志摩に対して「神宮」を暗に強調する必要はない。また神宮としては伊勢志摩エリアだけでなく日本全体を意識しているため、「神宮だけでなく」という表現は避ける。	10/8 浅野先生 経過報告	双方で神宮というワードを削除しました。 (旧) 神宮 森の伊勢志摩／神宮だけでなく“もっと海を体験する伊勢志摩へ” (新) 森の伊勢志摩／“もっと海を体験する伊勢志摩へ”
目標 5つの目標	25頁	5つの目標の中でも、優先的なものがある。賑わいと防災という観点は特に重要である。目標①②は他目標とは、重点度が違うことが一目でわかるようにしていただきたい。	10/8 浅野先生 経過報告	目標①②は重点目標とし、目標の前に「重点」というキーワードを追加しました。
	26頁	目標の説明文章部分に文字が多く、読みづらいため、余白などで調整してほしい。	9/30 検討部会	用語の説明はビジョン最終ページに一覧表としてまとめました。
各取り組み内容	27～38頁	目標と同様、優先するかつ実現度の高い取り組みについては、一目で重点的に取り組むことが分かるように表現を工夫いただきたい。	10/8 浅野先生 経過報告	優先して取り組む内容にわかりやすくマークを付けました。 なお、優先度の判断については事務局内で調整した結果です。
	27～38頁	写真掲載はイメージさせるうえで重要なので、採用する写真等はきちんと吟味をすること。	10/8 浅野先生 経過報告	著作権有無に留意して、下記のイメージ写真を変更・追加しました。 目標1の取り組み⑩⑪⑫⑬⑯⑰ 目標2の取り組み⑤⑥ 目標3の取り組み①(鳥羽うみ文化を体験)
	27～38頁	NS修正		わかりやすく・読みやすいように以下の点を修正し統一しました。 ・すべての取り組み内容に、①②③…といった番号を振る。 ・行間やフォントサイズの調整。 ・図面、イラスト、イメージ写真のタイトルやキャプションのつけ方を統一。
目標①取り組み内容	28頁	NS修正		目標1の中心市街地地区の取り組み内容③空き家・空き店舗の適切な措置・有効利用について、下記内容を追記しました。 ・国による後押しとして、改正空き家法の概要(特に関連しそうな内容の要点を抜粋) ・鳥羽市の取り組みとして、空き家バンク制度の概要・空家等対策計画の見直し

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
	29頁	都市機能の拡充に付隨したイメージ写真は、関係者は経緯を把握しているため理解できるが、初見だと文言とイメージ写真が結びつかない可能性があるため、今一度精査いただきたい。	9/30 検討部会	<p>他の取り組み内容に関する説明文章+イメージ写真を追加することで、都市機能の拡充をイメージされやすいように内容を修正しました。そのため、「駅前を中心とした観光・交流機能の強化に向けて、来訪者の滞在を支える都市機能の拡充に取り組みます。」は削除しました。</p> <p>(旧) 駅前を中心とした観光・交流機能の強化に向けて、来訪者の滞在を支える都市機能の拡充に取り組みます。</p> <p>(新) 上記を取り組み内容から削除。代わりに、下記の説明文章等を追記。</p> <p>⑩鳥羽駅前の新たな賑わい拠点の再開発 ⑪海沿いの豊かなオープンスペース創出 ⑫インバウンド向けのイベントや文化体験 ⑬みなとまちらしさを活かした様々なコンテンツ企画 ⑯離島住民が待ち時間を快適に過ごせる居場所 ⑰鳥羽うみ文化の発信拠点の場の整備(観光水産市場など)</p>
	29頁	佐田浜地区の取り組みについて、具体的なイベント企画の根拠が不明。「みなとまちらしさを生かしたコンテンツ企画」の表現のみでも伝わる。	9/30 検討部会	<p>具体例は削除しました。代わりにイメージ写真とキャプションで説明を補足しました。</p> <p>(旧) みなとまちらしさを活かした夜市・屋台・クルーズディナー・音楽ライブなどのコンテンツ企画の実施に取り組みます。</p> <p>(新) みなとまちらしさを活かした様々なコンテンツ企画の実施に取り組みます。 クルーズディナー、音楽ライブ+屋台のイメージ写真を追加。</p>

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
	29頁	佐田浜地区の取り組み⑯⑰について、南北ではなく東西のゲートではないか。	9/30 検討部会	ご指摘の通り修正しました。 (旧) 佐田浜西公園と旧ビジターセンター跡地において、佐田浜の北ゲートとなる空間づくりに取り組みます。 佐田浜東公園、ガソリンスタンド跡地等において、佐田浜の南ゲートとなる空間づくりに取り組みます。 (新) 佐田浜西公園と旧ビジターセンター跡地において、佐田浜の西ゲートとなる空間づくりに取り組みます。 佐田浜東公園、ガソリンスタンド跡地等において、佐田浜の東ゲートとなる空間づくりに取り組みます。
	29頁	佐田浜地区の取り組みについて、「観光水産市場」では観光色が強いのでは。市民も利用できるといった点も表現したい。	9/30 検討部会	⑯の吹き出し内の説明文章、および目標①の取り組みページ全体で、住民・離島住民も利用するといった内容の文章やイメージ写真を追加しました。
	29頁	NS修正		文章を修正いたしました。 (旧) パールビル跡地を含む駅前に新たなにぎわい拠点の再開発に取り組みます。 みなとまちらしさを活かした様々なコンテンツ企画の実施に取り組みます。 (新) パールビル跡地を含む駅前に新たなにぎわい拠点の再整備に取り組みます。 みなとまちらしさを活かした様々なコンテンツ企画に取り組みます。

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
	30頁	<p>鳥羽駅前の歩行者数や事業費等、様々な検討課題があることは重々承知ですが、ペディストリアンデッキの有用性を整理しながら、ビジョンに何らかの形で描くことはできないでしょうか。立地適正化計画においても、人口減少を前提としつつも、近い将来において避けることができないとされる大規模地震に対する備えを第一にし、居住誘導、都市機能誘導の方針を定めています。</p> <p>もし可能でしたら、大規模地震への備えとして、鳥羽水族館方面、マリンターミナル方面、旧市街地方面から鳥羽駅まで、そして鳥羽駅から日和山まで垂直避難が可能になるようなペディストリアンデッキをご検討いただくのはいかがでしょうか？</p>	10/7 追加意見	佐田浜地区の平面図において、鳥羽駅近鉄側～佐田浜東公園、鳥羽駅JR側～マリンパーク方面に、散歩道ネットワークを追記しました。 また、鳥羽駅～日和山のデッキについては、目標②の取り組み内容⑥(32頁)に記載しています。
	29～30頁	NS修正		「※本計画図は現時点の案であり、今後具体化する段階で変更の可能性があります。」の注記を追記しました。

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
総 目標②取り組み内 容	31頁	NS修正		防災まちづくりのイメージの図を微修正しました。
	31~32頁	「垂直避難」は建物以外も含めるのか。	9/30 検討部会	<p>「垂直避難」とは、自宅・施設等の浸水しない、または少しでも安全な上階等へ移動することを言います(国土交通省／防災用語ウェブサイト参照) 誤解が生じないよう、タイトル及び吹き出し内の文章および表現を修正しました。 ※番号は取り組み内容の番号に準ずる</p> <p>(1)佐田浜地区に関する表記 (旧) タイトル:わかりやすい垂直避難場所 ◆佐田浜の課題 ・イベントの開催や観光客向けの商業施設の立地に伴い、多くの避難者で溢れる。特に来訪者は土地勘がなく、混乱が予想される。 ・海沿いから高台への避難距離が長い。 タイトル:慣れ親しんだ垂直避難場所 ◆中心市街地の課題 ・狭い街路のため、避難時は自動車や歩行者で道が混雑する。 ・高台への避難経路の勾配が急なので、高齢者や小さな子供の避難が難しい。 ・エリアの中で住民が多く、その多くが高齢者。</p> <p>(新) タイトル:④わかりやすい垂直避難場所の整備 高台避難が難しい避難者も命を守れる環境を目指します。</p> <p>タイトル:⑤日常使いをする防災拠点の整備 垂直避難場所や防災広場が、日頃から無意識に浸透することを目指します。</p> <p>タイトル:⑥佐田浜から日和山へのデッキルートの整備 来訪者を含む多くの避難者を高台にアクセス可能とするためのルート確保を目指します。</p> <p>タイトル:⑦日和山の避難経路の整備 日常的な維持管理により、高台への避難経路の安全性を継続的に確保することを目指します。</p>

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
	31～32頁	NS修正		⑤日常使いをする防災拠点の整備・⑥佐田浜から日和山へのデッキルートの整備の吹き出しに対して、イメージ画像を追加しました。
	31～32頁	NS修正		図版上の指定緊急避難場所は「鳥羽市地域防災計画 資料編(令和7年3月修正版)」に記載の指定避難所一覧に従った記載と致しました。なお、JR鳥羽駅および近鉄鳥羽駅は洪水の避難施設とされていることから図版から削除しました。ただし、今後の整備を目指す「津波発生時の垂直避難場所」(図版中に2カ所記載)の取り扱いについては、今後関係部署との調整が必要と考えております。
	31～32頁	NS修正		図版上の海拔10mラインの正確性の担保が難しいため、削除しました。
	31～32頁	NS修正		図版上の土地所有者感情を配慮し、小さな拠点の記載を削除しました。
	31～32頁	NS修正		主な避難経路を一部修正しました。(妙慶川沿いを起点とする経路の追加・三の丸広場経由の経路を追加・佐田浜計画地内の経路を追加)

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
目標③取り組み内容	34頁	佐田浜地区の取り組みについて、「鳥羽うみ文化を体験」のイメージ写真が適切でないと思う。海女体験などをイメージする。	9/30 検討部会	イメージ写真を変更しました。 (旧) 海釣りしている様子 (新) 海女さんの様子
目標④基本方針	35頁	NS修正		文章を修正いたしました。 (旧) 国内外、南鳥羽、離島を含む広域とのアクセス利便性を高めるため、高速バス・鉄道・フェリーなどの交通手段の充実と接続改善を進めます。来訪者と地域住民の双方にとって使いやすく、移動しやすい交通体系を整えます。 (新) 県内外、南鳥羽、離島を含む広域とのアクセス利便性を高めるため、高速バス・鉄道・フェリーなどの交通手段の充実と接続改善を進めます。来訪者と地域住民の双方にとって使いやすく、移動しやすい交通体系を整えます。
目標④取り組み内容	35頁	NS修正		⑦小さな交通拠点(ローカルハブ)の整備について、具体的な空間のイメージがわかりやすいように、説明文章を修正しました。 (旧) 鳥羽駅が域内外交通をつなぐ <u>メインハブ</u> であるのに対し、ローカルハブは徒歩や自転車と公共交通をスムーズに乗り継ぎ、まちあるきの起点となる小さな交通拠点です。 <u>バス停やパーソナルモビリティの乗降・貸出スペースなどを組み合わせた機能を備えます。</u> (新) 鳥羽駅が域内外交通をつなぐ <u>大きな結節点</u> であるのに対し、ローカルハブは徒歩や自転車と公共交通をスムーズに乗り継ぎ、まちあるきの出発点となる小さな交通拠点です。 <u>ベンチのあるバス停や、自転車や小型モビリティの乗降・貸出スペースを備え、来訪者や市民が気軽に立ち寄り移動を切り替えられます。</u>
	35頁	「ローカルハブ」は目標の随所に登場するが、カタカナ表記や英語表記があるため、同一の意味を持つのか、はたまたそうではないのか今一度精査いただきたい。	9/30 検討部会	目標②および④の取り組み内容で使用していた造語については、用語の意味が伝わりにくいため、削除しました。

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
	36頁	NS修正		<p>文章を修正いたしました。</p> <p>(旧) 公共交通拠点から目的地までの「最後の移動区間」を指します。この区間を快適に結ぶために、電動自転車や小型EV、シェアモビリティなど多様な移動手段を整備・充実させ、歩行者中心の快適な環境を実現します。</p> <p>(新) ラストワンマイルとは、公共交通拠点から目的地までの「最後の移動区間」を指します。この区間を快適に結ぶために、電動自転車や小型EV、シェアモビリティなど多様な移動手段を整備・充実させ、歩行者中心の快適な環境を実現します。</p>
目標⑤取り組み内容	38頁	中心市街地地区の取り組みについて、「妙慶川沿いの建物の顔が川に向いた空間づくり」という表現が正しいか。行政側はすでに整備済みの認識である。	9/30 検討部会	<p>川沿いの民間が将来的に川に向けて顔を向けた再整備を行うことも見据えた取り組み内容です。行政が主体的に取り組む内容ではないという点がわかるよう、下記の通り文章を修正しました。</p> <p>(旧) 妙慶川沿いの建物の将来の建替えを見据え、建物の顔が川に向いた空間づくりを検討します。</p> <p>(新) 妙慶川沿いの建物は、将来の建替え時には建物の顔が川に向いた空間づくりを促進します。</p>
推進体制	39頁	NS修正		<p>ロードマップの表内の各タイトルを変更しました。</p> <p>(旧) 体制づくり、方向性の検討と試行 事業化に向けた検討と試行 持続的なまちの運営へつながるシステム完成</p> <p>(新) 体制づくり、エリア整備の具体化と試行・一部実現 取り組みの継続 ビジョン実現に向けた持続的なまち運営へ</p>
全体		専門用語や独自で提案する用語が多く登場しており、それぞれが意味することを記載してほしい。共通認識を持ちたい。	9/30 検討部会	巻末に用語の説明一覧を作成しました。

内容	1024ビジョン 頁数	ご意見	発言日	対応結果
その他		せっかくPORTBAというキャッチコピーを考えたので、それを具体的な取り組みやそれ以外のところでも活用しないと、一過性のものになってしまう。	9/30 検討部会	今後は、シティプロモーションやプランディングの観点から「PorTOBA」という名称を積極的に活用していくことを想定しています。具体的には、イベント・施設・広場・モビリティなどのネーミングに取り入れることで、市民や来訪者の目に触れる機会を増やし、「PorTOBA」という言葉を通じてまちづくりへの共感や参加意識を高めていくことを目指します。